

6.1.2 期待される新たな展開

本プランのめざす矢作川の姿を具現化する対策を実施することにより、期待される新たな展開について以下に示します。

① 矢作川水辺プロジェクト

- ・本プランと都心環境計画（平成 27 年度策定）との連携により、2019 年ラグビーワールドカップ開催を見据えミズベリングプロジェクト（国土交通省）を活用した市民と行政による水辺の賑わいづくりと、都心環境計画による賑わいづくりの相乗効果により、より魅力的なスタジアムアベニューを創出します（整備目標 2018 年度末）。



図 6.1 矢作川水辺プロジェクトのイメージ

② 矢作川河畔の広域サイクリングロード構想

- ・本プランが提案するサイクリングロードの整備と岡崎市矢作川水辺環境整備事業によるサイクリングロード整備、また既整備の豊田安城自転車道とを結ぶことにより、豊田市・岡崎市・安城市の3市にまたがる総延長約 33km の広域的な矢作川河畔サイクリングロードの整備が可能となります。今後は、河川管理者、岡崎市、安城市との広域的な連携により、具体化に向けた調整を図っていきます。

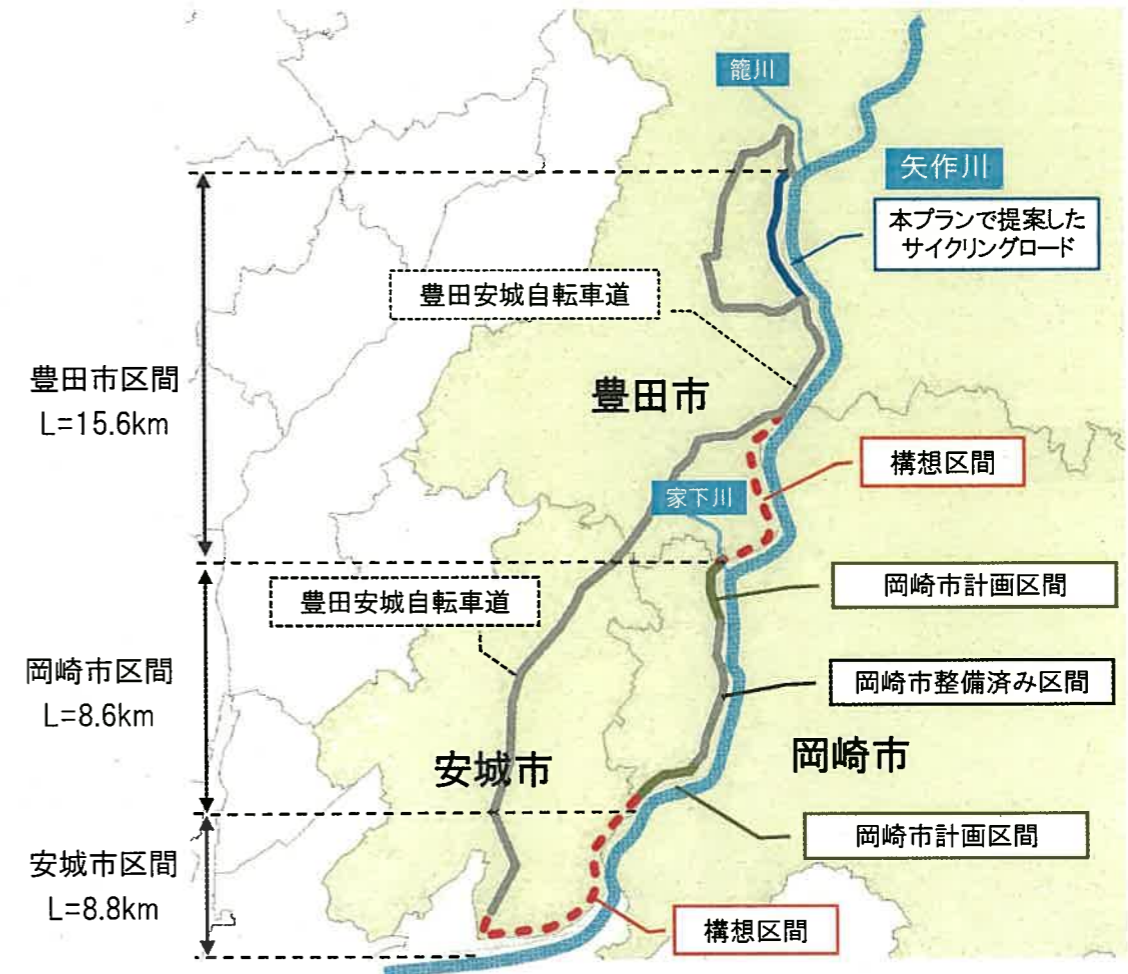


図 6.2 広域サイクリングロードの構想図

③ 河川愛護活動の流域圏への展開

- ・豊田市域の矢作川では、草刈や清掃など地域住民による愛護活動が活発に行われ、良好な河川環境が保全されています。今後は、この活動の輪が将来的に流域全体に広がっていくことを目指し、河川管理者や流城市町村との連携や情報共有により、流域住民への河川愛護意識の高揚を図っていきます。